

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんおおさかしおんがくだん 公益社団法人大阪市音楽団		
代表者職・氏名	理事長・石井徹哉		
制作団体所在地	〒 559-0022		
	大阪府大阪市住之江区緑木1-4-138		
電話番号	06-6684-2130	FAX番号	06-6686-3377
ふりがな 公演団体名	おおさかしおんういんどおーけすとら Osaka Shion Wind Orchestra		
代表者職・氏名	楽団長・石井徹哉		
公演団体所在地	〒 559-0022		
	大阪府大阪市住之江区緑木1-4-138		
制作団体 設立年月	平成25年12月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 石井徹哉 理 事 池田勇人、長谷行康、延原弘明、池末浩規、西上雅章、和沙哲郎、喜多弘悦、岡本健一	理事:8名、監事1名、正会員:5名、顧問1名、楽団員32名、事務職員11名 加入条件:オーディション等による	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	長谷行康
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	石井徹哉

制作団体沿革	大正 12(1923)年 元陸軍第四師団軍楽隊有志により「大阪市音楽隊」を結成。 昭和 9(1934)年 大阪市直営の楽団となる。 昭和 21(1946)年 大阪市音楽団と改称。 昭和 54(1979)年 大阪芸術賞(府・市)を受賞。 昭和 56(1981)年 市音楽団事務所・練習場を天王寺公園内から大阪城公園内へ移転。 昭和 63(1988)年 日本民間放送連盟賞・ラジオ番組娯楽部門最優秀賞を受賞。 平成 26(2014)年 大阪市直営から「一般社団法人 大阪市音楽団」として民営化。 平成 27(2015)年 楽団名称を「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra(通称 Shion)」と改称。 平成 30(2018)年 一般社団法人大阪市音楽団から公益社団法人化。			
学校等における公演実績	昭和 38(1963)年より吹奏楽普及のため、学校の体育館や施設などにて児童・生徒のための公演を実施してきました。開始当初は年間 20 公演程度の公演数が、昭和 50 年代には年間 80 公演を超える回数となりました。また、児童・生徒への情操教育の一貫として、音楽専用ホールにて鑑賞ができるように、現在大阪市内において、合同音楽鑑賞会として実施しています。また、近くにホールがない学校に対しては、従来とおり体育館などでの演奏活動も続けています。 近年の学校公演の実績 平成 26(2014)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム 26 公演(参加 119 校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 26 公演。 平成27(2015)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム10公演(参加44校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 20 公演 平成28(2016)年度「学校訪問型鑑賞会」プログラム20公演、「合同音楽鑑賞会」プログラム 18 公演、「長野県長野市小中学校学校巡回公演」 平成29(2017)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演、「長野県松本市小中学校学校巡回公演」 平成30(2018)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演 平成31(2019)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演			
特別支援学校における公演実績	平成26(2014)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 平成27(2015)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 平成28(2016)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 長野県長野市小中学校巡回公演(長野ろう学校、若槻養護学校、長野盲学校) 平成 29(2017)年度 長野県松本市小学校巡回公演(松本ろう学校、松本養護学校、寿台養護学校、松本盲学校) 平成30(2018)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会)			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/uZjpPF90bsk https://youtu.be/_-AT2z8-a0M	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	無
			PW:	無
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】

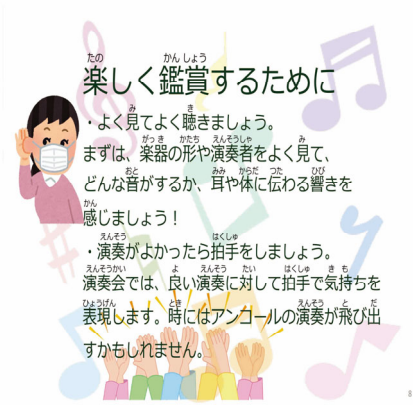
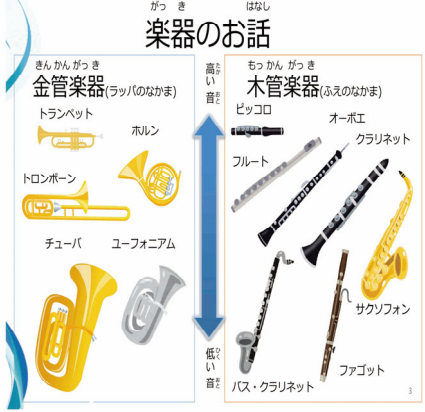
対象	○	小学生(低学年)	○	中学生	
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	吹奏楽って何だろう?`楽器の特徴と役割からリズムのお話まで`鑑賞から楽しく学び取ろう!【小学生(低学年・中学年)向けおよび、小学生(高学年)・中学生向け】				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学生(低学年・中学年)向けプログラム】※90分公演 1. アルビナ・ファンファーレ/ F.チェザリーニ (4'00") 2. ハッピー・バンド・デイ・トゥ・ユー(楽器紹介)/酒井格 (5'30") 3. 「ペール・ギュント」組曲第1番からⅠ.朝Ⅱ.山の魔王の宮殿にて/E.H.グリーグ(M.L.レイク編曲)(6'30") 4. ジュピター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト(J.デメイ編曲)(2'30") 5. 歌劇「ローエングリン」第2幕〜エルザの大聖堂への行列/R.ワーグナー(L.カイエ 編曲) (6'30")前半25'00"ー休憩(15分)ー 6. ベルシヤの市場にて/A.W.ケテルビー(6'30") 7. 〜指揮者コーナー〜歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー(高昌帥編曲)(8'00") 8. 「ライオン・キング」より/H.ジマー、E.ジョン、レボ・M(森田一浩編曲)(8'30") En. 星条旗よ永遠なれ(または校歌)/J.P.スーザ(3'30") 後半26'30"/Total 51'30" 【小学生(高学年)・中学生向けプログラム】※90分公演※プログラム1、2までは同上。 3. 歌劇「イーゴリ公」から「驍戦人の踊り」/A.ボロディン(ハインズレー編曲)(12'00") 4. 交響曲第1番「指輪物語」から第1楽章“魔法使いガンダルフ”/J.デメイ (6'30")前半28'00"ー休憩(15分)ー 5. たなばた/酒井格(8'30") 6〜指揮者コーナー〜歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー(高昌帥編曲)(8'00") 7. ユー・レイズ・ミー・アップ (ユーフォニアムソロ) /R.ラヴランド(星出尚志編曲)(6'00") 8. シング・シング・シング/L.ブリマ(岩井直博編曲)(6'00"後半)32'00"Total 60'00" En. 星条旗よ永遠なれまたは宝島から選択 (両曲とも吹奏楽部との合同可。) 公演時間(各90 分)				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	別添あり(別添)				
演目選択理由	別添あり「別添(2)」				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【体験・参加型プログラムとして】 1.指揮者体験: 代表生徒に実際に指揮を体験し、音楽の構造口と関わりを学びます。 2.校歌斉唱(選択式): 当団の伴奏で合唱し、参加者全員で一つの音楽を作る体験をします。 3.吹奏楽部との共演(選択式): 当団演奏の中に入り一緒に演奏を行い、曲想と音楽の構造と関わりについて学びます。 4.手拍子による演奏参加: アンコールでは、校歌や合同演奏といった参加がない場合でも、指揮者の誘導により手拍子で演奏参加の体験ができます。				
出演者	指揮者:堀俊輔、司会者:未定 吹奏楽:Osaka Shion Wind Orchestra 1923年(大正12年)に誕生以来「Shion(しおん)」の愛称で親しまれている日本で最も長い歴史と伝統を誇る交響吹奏楽団。 2014年大阪市直営より民営化。2015年3月に「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra」と改称。 クラシックからポピュラーまで多彩なコンサートを展開し、各都市での演奏会をはじめ幼稚園から高等学校校までの音楽鑑賞会、中学校高等学校での吹奏楽講習会、CD録音など、幅広い活動を通じて音楽文化の向上と発展のために力を注いでいる。 全日本吹奏楽連盟制作のコンクール課題曲参考演奏の収録、選抜高等学校野球大会入場行進曲収録を担当し、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK「どれみふぁわんダーランド」出演など全国区での活動を展開。 また、大阪城音楽堂での「たそがれコンサート」や駅コンサートなど地元大阪に根づいた活動も行っている。 これまでに3度の大阪文化祭賞、日本民間放送連盟賞、日本吹奏楽アカデミー賞演奏部門賞、大阪芸術賞、なにわ大賞を受賞。 現在、音楽監督に宮川彬良、芸術顧問に秋山和慶が就任している。				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	指揮者1、司会者1、演奏者48、事務局4、アルバイト4 出演者: 50 名 スタッフ: 8 名 合 計: 58 名	機材等 運搬方法	積載量: 3.5/2 t 車 長: 7.3/6.5 m 台 数: 2 台 ※楽器搬送車3.5t/舞台設備搬送車(ひな壇、アクリル板)2t		

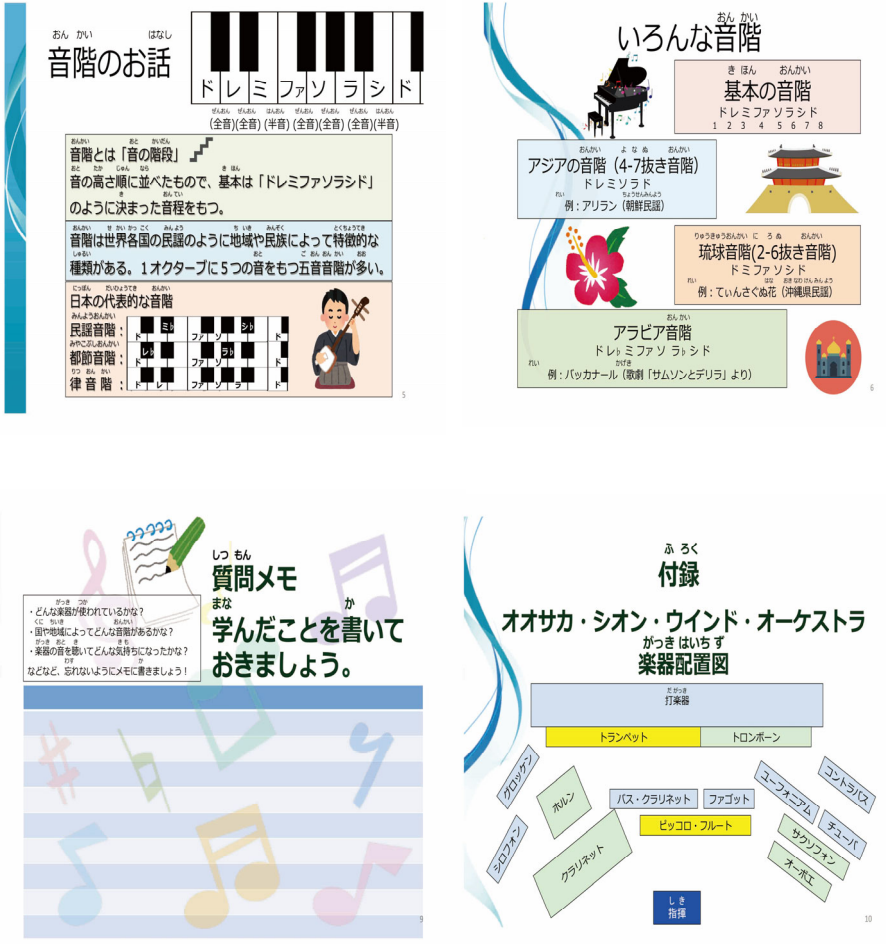
【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	※宿泊先出発時刻が朝7時以前となる場合、前日仕込みの必要あり。					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時	13時30分～15時	15分	15時～16時30分	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	500名程度(体育館の場合はその広さに応じて) ※生徒数が多い場合は、短縮プログラム(45分程度)を2回に分けて実施することも検討します。				
	本公演	2,000名程度(体育館の場合はその広さに応じて) ※生徒数が多い場合は、短縮プログラム(45分程度)を2回に分けて実施することも検討します。				
ワークショップ 実施形態及び内容	別添あり[別添(3)]					
ワークショップ 実施形態の意図	別添あり[別添(4)]					
特別支援学校での 実施における工夫点	楽団員のジェスチャーやブラカードなどの表示を使い、現在行われている内容を聴覚だけでなく、視覚からも理解できるように工夫し、児童・生徒により多くの観点から音楽芸術の素晴らしさを理解してもらえるようにします。さらに本公演では、演奏している楽団員が曲によって立奏することにより、今、どの楽器が演奏しているのかも視覚的に理解できるようにもいたします。また、各学校の事情に合わせ、説明する方法や一部の内容に対しては柔軟に対応し、児童・生徒にとって実りある鑑賞会となるような対応に努めます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra	】
演目概要	【アルピナ・ファンファーレ/R.チェザリーニ】 フランコ・チェザリーニは、スイスの作曲家です。この曲はカート・ブログリとスイスのロス・バンドのために作曲されました。この作品には、冒頭のファンファーレからはじまり、堂々とした中間部があり、またファンファーレでしめくります。とても響きが荘厳でスイスの風景が想像できるような素晴らしい楽曲です。 【ハッピー・バンド・デイ・トゥ・ユー(楽器紹介)/酒井格】 【ハッピー・パースデイ・トゥ・ユー】のメロディをヴァリエーション形式でつなぐ楽器の紹介曲となっています。 木管楽器、金管楽器、打楽器がマーチ、ジャズなど様々なリズムパターンに乘せて曲調の変化も楽しめます。 【「ペール・ギュント」組曲第1番からI.朝II.山の魔王の宮殿にて/E.H.グリーグ(M.L.レイク編曲)】 ノルウエーの劇作家ヘンリック・イブセンが1867年に作った戯曲「ペール・ギュント」にグリーグが作曲した劇付随音楽から、特によく演奏される「朝」と「山の魔王の宮殿にて」という作風の対照的な2曲を聴いていただきます。 【ジュピター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト(J.デメイ編曲)】 組曲「惑星」の木星の有名な中間部の旋律をモティーフとして、吹奏楽作曲家のヨハン・デメイが、短いながら壮大にまとめた楽曲。小学生にも分かりやすく、吹奏楽特有の管楽器のハーモニーの美しさを伝える一曲です。 【歌劇「ローエングリン」第2幕〜エルザの大聖堂への行列/R.ワーグナー(L.カイエ編曲)】 歌劇「ローエングリン」は大変高名な作品であるにもかかわらず、この曲の単独演奏は管弦楽でもまずないため、稀少性が高い中、吹奏楽（管楽器編成）の特性を活かし、合唱パートを補うなど、優れた演奏効果のアレンジにより大変劇的で音楽的魅力が充実した楽曲となっています。 【ペルシャの市場にて/A.W.ケテルビー】 ペルシャ絨毯でも有名な中東にあるペルシャ（現イラン）の市場に起こる様々な情景が描かれた曲（情景描写曲）。商品をラクダに乘せて砂漠を渡って来る商人のキャラバン隊の到着した市場では、蛇使いの笛、物乞いをする者の声や、王女の到来を表す優美なメロディーなど様々なシーンが音で流れてきます。 【〜指揮者コーナー〜歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー】オペラの冒頭、第1幕への前奏曲です。冒頭の力強いメロディーは第4幕の「行進の音楽」から引用されています。指揮体験をしてもらうために中間部の穏やかなフレーズ（第2幕から引用）「闘牛士の歌」をカットし約半分のサイズに縮めています。 【「ライオン・キング」より/H.ジマー、E.ジョン、レボ・M(森田一浩編曲)】 「ライオン・キング」は1994年に公開されたディズニー長編アニメーション映画、97年製作のミュージカル、2019年公開のフルCG版（超実写版）の三作が中核をなす作品です。そこには数々の魅力的な挿入歌とともに、情景を余すところなく表現した音楽（スコア）部分が含まれていますが、このスコア部分は大変に印象的にもかかわらず、挿入歌ほど注目度は高くありません。この吹奏楽アレンジでは、数々の名モチーフを織り交ぜながら、全体的に1つの音楽メドレーとなるように構成されており、聴く人に物語の情景を思い起こさせます。 【星条旗よ永遠なれ/J.P.スーザ】 この曲は、世界のマーチ王と言われるアメリカの作曲家ジョン・フィリップ・スーザの代表作です。曲の後半にはアメリカの3つの地域を表すメインメロディー（北部）、ピッコロの旋律（南部）、力強いトロンボーンのメロディー（西部）を持ち。この3つを同時に響かせることでまさにアメリカそのものを表現していおり、アメリカの第2の国家とも言われています。 【校歌(選択式)】 各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。 【歌劇「イーゴリ公」から「鞆軽人の踊り」/A.ボロディン(ハインズレー編曲)】ロシア国民楽派の（5人組）の1人として活躍した作曲家ボロディンが書いたオペラ「イーゴリ公」の第2幕より「鞆軽人の踊り」は、優美で力強い東方風音楽を表現しています。木管楽器の奏でる「娘たちの踊り」に始まり、軽快なクラリネットのソロに導かれた荒々しい「男たちの踊り」、金管楽器を中心とした壮大な「全員の踊り」へと広がっていきます。冒頭の「娘たちの踊りが」一層優美さを増して戻った後、木管楽器の活気に満ちた旋律に導かれオーケストラ全体が加わって力強く曲を閉じます。 【交響曲第1番「指輪物語」から第1楽章“魔法使いガンダルフ”/J.デメイ】 イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンファンタジー小説『指輪物語』を題材に、作曲された、デメイの最初の本格的な作曲作品で、主要な登場人物である灰色の魔法使いガンダルフを描いた楽章。ファンファーレに続いて、賢明で高潔なガンダルフの主題が現れる。アレグロ・ヴィヴァーチェでは愛馬『飛蔭（とびかげ）』に跨り疾走する様子がスピード感豊かに描かれています。 【たなばた/酒井格】 大阪の作曲家酒井格が、高校で吹奏楽部に所属していた頃に親しんだ数多くの作品に影響を受けて書いた処女作です。七夕は、天の川によって離ればなれにされてしまった若い男女、彦星と織姫が、年に一度7月7日の夜だけ逢う事を許されると言う伝説ですが、この作品の中間部ではその二人が再会する場面（Alto Saxophoneが織姫、Euphoniumが彦星）を描いています。生まれ育った枚方市は、七夕伝説との関わりが深く、星ヶ丘や星田、天の川、逢合橋（あいあいばし）や、かささぎ橋など、この伝説にちなんだ数多くの地名やスポットがあることも、この伝説を題材に作品を書いた事に大きく影響しています。曲調は、軽快で明るく、高校在学中に書かれたこともあり、若々しいエネルギーに満ち溢れています。 【ユー・レイズ・ミー・アップ（ユーフォニアムソロ）/R.ラヴランド(星出尚志編曲)】 TVCMなどで人気の高いバラード曲の定番を、ユーフォニアムのソロで演奏する曲です。京都アニメーションが製作したアニメ「響け！ユーフォニアム」でよく知られるようになったユーフォニアムの語源はギリシャ語で「良い響き」という意味です。吹奏楽ならではの贅沢なサウンドと美しく甘いソロの共演となっています。トロンボーンやテナー・サクソフォンのソロで演奏する場合もあります。 【シング・シング・シング/L.ブリマ(岩井直博編曲)】 スウィング・ジャズの名曲「King of the Swingers（キング・オブ・ザ・スウィングーズ）」を原曲にもち、歌手でありトランペット奏者でもあるルイ・ブリマが作曲した曲です。ジャズクラリネットの世界的者ベニー・グッドマン率いる楽団の代表曲として有名で、日本映画の「スウィング・ガールズ」でも良く知られたジャズのスタンダードです。印象的なドラムのリズムに乗って、主役のクラリネットが、熱いソロを演奏します。聴いていると自然に体が動いて、クライマックスでは興奮を覚えます。 【宝島/和泉宏隆（真島俊夫編曲）】（共演可） 日本のフュージョン・バンドT-SQUAREのヒット曲を、吹奏楽のオリジナル作品を数多く作曲している真島俊夫が、楽しいラテン調のリズムにアレンジした、吹奏楽界で高い人気のある楽曲です。中間部にアルト・サクソフォンのソロや、トランペット、トロンボーンによるソリも現れます。			

リンク先	No.2	【公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra	】
演目選択理由	【アルビナ・ファンファーレ/F.チェザリーニ】 この作品は、吹奏楽界に多くの作品を書いているスイスの作曲家チェザリーニがアルプスの山々をイメージしたファンファーレ曲です。冒頭に荘厳なホルンのファンファーレ持ち、堂々としたマーチ部分、牧歌的な中間部があり、またファンファーレでしめくります。壮大なファンファーレは、コンサートのオープニングにふさわしく、これから始まる演目に対し、児童・生徒たちの想像力や期待感を高めます。 【ハッピー・バンド・デイトウ・ユウ(楽器紹介)/酒井格】 「ハッピー・バースデイ・トゥ・ユウ」のメロディをヴァリエーション形式でつなぐ楽器の紹介曲となっています。各楽器の音色を聴き分けられるだけでなく、曲調もマーチ、ジャズなど様々変わるため、楽器特有の性質を表現できる作風となっているため、より印象に残りやすい効果が期待できます。 【「パール・ギュント」組曲第1番からⅠ.朝Ⅱ.山の魔王の宮殿にて/E.H.グリーグ(M.L.レイク編曲)】 ノルウェーの劇作家ヘンリック・イブセンが1867年に作った戯曲「パール・ギュント」にグリーグが作曲した劇付随音楽から、特によく演奏される「朝」と「山の魔王の宮殿にて」という作風の対照的な2曲を聴いていただきます。物語の設定では、砂漠で寝ている主人公のペールが財産を奪われた絶望の中で砂漠で迎えた「朝」とは想像もつかない、美しいのどかな情景を思い浮かべる曲と、町を追われて迷い込んだ山の魔王の宮殿から、命がけで逃げ出すシーンを描いた2曲を聴いて、聴く人が自分自身の中にあるシーンを想像しながら楽しめる楽曲です。 【ジュビター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト(J.デメイ編曲)】 吹奏楽作曲家として数々の名曲を作曲しているヨハン・デメイが、ホルストの書いた組曲「惑星」より木星の有名な中間部のメロディーをモチーフに書いた楽曲です。実際の惑星の中でそうであるように、「木星」は組曲「惑星」の中で最もスケールの大きい楽曲で、特に中間部はイギリスの愛国歌「祖国よ、我は汝に誓う」という歌になっているほどの美しさがあります。このアレンジではコーラル風に始まり、徐々に楽器を増しながらハーモニーを広げていき、重厚感ある感動的なエンディングへと到達します。吹奏楽の響きを理解する導入曲として小学生にもわかりやすい選曲としております。 【歌劇「ローエングリン」第2幕〜エルザの大型堂への行列/R.ワーグナー(L.カイエ編曲)】 歌劇「ローエングリン」は大変高名な作品であるにもかかわらず、この曲の単独演奏は管弦奏でもまずないため、稀少性が高い中、吹奏楽(管楽器編成)の特性を活かし、合唱パートを補うなど、優れた演奏効果のアレンジにより大変劇的で音楽の魅力が充実した楽曲となっています。クラシックの優れた作品を聴くことで、木管楽器の純粋な美しいメロディーに始まり、半音進行の上行音型により徐々に盛り上がり大きな頂点に到達し、感動を呼び起こします。 【ベルシヤの市場にて/A.W.ケテルビー】 小学校の鑑賞教材として用いられる楽曲で、情景描写曲として、様々な登場人物や市場の様子が明確に書き分けられており、冒頭の砂漠の遠方からキャラバンが駱駝に乗って近づくシーンの音楽ではじっくりと耳を傾けるところから始まる等、様々な情景を音楽で表現した秀逸作品として、聴き手の想像力を引き上げる効果が期待できるため選曲いたしました。今回は、各シーンに使用される多様なリズムの違いを体感する題材として聴いていただきます。 【〜指揮者コーナー〜歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー】 初心者でも振りやすい2拍子の楽曲の中でも、自身がイメージしている楽曲のテンポと指揮をする時の手の動きをより具体的に想像しやすいように、学校の授業や、テレビでも取り上げられている、耳馴染みのある楽曲としてこの曲を選曲しました。 【「ライオン・キング」より/H.ジマー、E.ジョン、レボ・M(森田一浩編曲)】 日本でも映画はもちろん、ミュージカルのロングランや再演により、よく知られる「ライオン・キング」ですが、この吹奏楽アレンジでは、数々の名モチーフを織り交ぜながら、全体的に1つの音楽メドレーとなるように構成されており、聴く人に物語の情景を思い起こさせ、心に興奮と感動が残る効果が期待できます。 【「星条旗よ永遠なれ」/J.P.スーザ】 この曲は、世界のマーチ王と言われるアメリカの作曲家ジョン・フィリップ・スーザの代表作です。アンコールとして手拍子を取りやすい行進曲を選曲しました。 【校歌(選択式)】 各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。 【歌劇「イーゴリ公」から「韃靼人の踊り」/A.ボロディン(ハインズレー編曲)】 ロシア国民楽派の「5人組」の1人として活躍した作曲家ボロディンが書いたオペラ「イーゴリ公」の第2幕より「韃靼人の踊り」は、優美で力強い東方風音楽を表現しています。木管楽器の奏でる「娘たちの踊り」に始まり、軽快なクラリネットのソロに導かれた荒々しい「男たちの踊り」、金管楽器を中心とした壮大な「全員の踊り」へと広がっていきます。冒頭の「娘たちの踊りが」一層優美さを増して戻った後、木管楽器の活気に満ちた旋律に導かれオーケストラ全体が加わって力強く曲を閉じます。木管楽器、金管楽器の特徴や役割の違いを理解しやすく、独特の美しい旋律は、深く聴く者の記憶に残ります。 【交響曲第1番「指輪物語」から第1楽章「魔法使いガンダルフ」/J.デメイ】 イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンのファンタジー小説『指輪物語』を題材に、作曲された、デメイの最初の本格的な作曲作品。全5楽章から成る交響曲の大曲の中から第1楽章を取り上げ、交響曲の導入としても、小学生(高学年)・中学生にも親みややすく、理解しやすい題材となっています。 【たなばた/酒井格】 大阪の作曲家酒井格が、高校で吹奏楽部に所属していた頃に親しんだ数多くの作品に影響を受けて書いた処女作です。曲調は、軽快で明るく、高校在学中に書かれたこともあり、若々しいエネルギーに満ち溢れており、コンサート後半のオープニングにふさわしく、同世代の子供達のイメージとマッチしやすい上、後半のジャズ・ポップスへの導入へもスムーズに移行できる楽曲という観点から選曲しています。 【ユー・レイズ・ミー・アップ(ユーフォニアムソロ)/R.ラヴランド(星出尚志編曲)】 TVCMなどで人気の高いバラード曲の定番を、ユーフォニアムのソロで演奏する曲です。京都アニメーションが製作したアニメ「響け！ユーフォニアム」でよく知られるようになったユーフォニアムの語源はギリシャ語で「良い響き」という意味です。吹奏楽ならではの贅沢なサウンドとユーフォニアムの美しく甘いソロをクローズアップすることで、楽器の名前と音色を覚えてもらう効果が期待できます。 【シング・シング・シング/L.ブリマ(岩井直博編曲)】 スウィング・ジャズの名曲「King of the Swingers(キング・オブ・ザ・スウィングガーズ)」を原曲にもち、歌手でありトランペット奏者でもあるルイ・ブリマが作曲した曲です。ジャズクラリネットの世界的者ベニー・グッドマン率いる楽団の代表曲として有名で、日本映画の「スウィング・ガールズ」でも良く知られたジャズのスタンダードです。印象的なドラマのリズムに乗って、主役のクラリネットが、熱いソロを演奏します。聴いていると自然に体が動いて、クライマックスでは興奮を覚えます。小学生(高学年)・中学生の皆さんにもぜひ少し大人なこの名曲の実演に触れていただき、音楽の楽しみ方の一つとして学んでいただければと考えています。 【宝島/和泉宏隆(真島俊夫編曲)】(共演可) 日本のフュージョン・バンドT-SQUAREのヒット曲を、吹奏楽のオリジナル作品を数多く作曲している真島俊夫が、楽しいラテン調のリズムにアレンジし、吹奏楽界で高い人気がある楽曲です。とてもノリが良く、自然に手拍子ができることから選曲いたしました。また、希望により鼓笛隊や金管バンド、吹奏楽部、軽音楽部との合同演奏が可能です。			

リンク先	No.3	【公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra	】
ワークショップ 実施形態及び内容				
時間を大きく2コマに分け実施します。 本公演のテーマである「吹奏楽」を理解していただくため、前半に管楽器の構造や成り立ちを実演奏やスライド映像を交え、分かりやすく説明しながら、音の出る仕組みを学び吹奏楽で使用する楽器について学びます。写真やイラストで楽器の形や名前を覚えていただく事で、本公演で実際の楽器を目にした時の印象が大きく異なります。 後半では公演で聴く楽曲の説明や作曲された背景を学びます。また、聴き所を実演奏やスライドを交えてわかりやすく説明し本公演に向けてより興味を持って聴けるような準備をいたします。 最後に楽団員によるアンサンブル演奏を実演し、小編成ながらも、合奏の仕組みを実際に感じてもらい、本公演への関心を高めます。 また、ワークショップから本公演までの期間中、課題の一つ決め、取り組んでいただきます(例として本公演の演奏曲を毎日昼休みに流すなど、当楽団の演奏CDを授業で聴いておく。指揮者コーナーの練習、全員合唱の練習など)。これにより児童、生徒のモチベーションが上がり本公演までの期間が生きたものになり、公演への期待も高まります。 中学校で吹奏楽部との合同演奏の希望がある場合は、共演曲などを題材に基礎練習など、合奏でのポイントや音楽の楽しみを体感していただきます。 主指導者1名、楽団員3名(木管楽器1名、金管楽器1名、打楽器1名)を予定。 [2021年度ワークショップ資料より(抜粋)] 				

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
ワークショップ 実施形態の意図	管楽器は「吹く」ことにより音が出る楽器ですので、その「吹く」ことによって「なぜ音が出るのか」実際に楽器を使いながら分かりやすく構造を説明し、生身の人間が創る音楽芸術の素晴らしさを感じ取っていただきます。また、予習を通じて、音楽を聴くだけではなく、自分自身が実際に体感することによって得られる要素を合わせて学び、本公演への準備をいたします。また吹奏楽部との合同演奏では、自分自身が演奏することにより奏でる音を通じて、音との結びつきも合わせて学び、実演芸術の素晴らしさを体感できます。本公演では、鑑賞教室のスタイルは取っているものの、あくまでも演奏会として楽しんでいただきたいと考えており、当日、難しい説明ではなく、聴く側と同じ目線に立った進行を心がけます。本公演までの準備期間を活用するため、下記の通り、ワークショップ後に簡易な課題例をお示しいたします。各学校で何か1つでも積極的に取り組んでいただくことで、児童・生徒の皆さんが純粋に生の音楽に触れ、作り込まれた音の1つ1つを身体全体で受け止めていただき、鑑賞体験がよりスムーズで豊かなものになるように願っております。 1)演奏曲の中の数曲を校内放送などで継続的に流していただき、当日への期待感を高める。または、授業でCD鑑賞の時間を持っていただく。 2)校歌を選択された学校では、参加される児童・生徒の皆さんで、放課後やオリエンテーションの時間を利用してクラス単位で練習してもらう。 3)合同演奏を希望されるクラブ活動におきましては、できれば当日の演奏やパフォーマンスに集中できるよう暗譜できるレベルまで練習してもらう。 上記の取り組みにより、児童・生徒の皆さんのモチベーションが上がり、本公演までの経験も生きたものとなり、公演への期待も高まり、公演の成功へと導きます。 [2021年度ワークショップ資料より(抜粋)]	

ID	I111	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra				制作団体名	公益社団法人 大阪市音楽団			

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件	指揮者1室、男性1.2室、女性1.2室、スタッフ1室。飲食/着替えの為に隠し可能な部屋が希望です。				可	
搬入について	来校する車両の大きさ台股数 *			4t/2tトラック	2台	大型バス	3台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			学校周辺の道路状況により4tトラックの進入ができない場合のみ、4tトラックを2t2台に変更可能。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅2.5m 長さ8m 高さ3.4m)					可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			50m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根がある舗装された経路 ・幅2m、高さ2.1m程度が確保できる経路				可	
	理由			・専用台車を使用し楽器搬入をおこなうため ・雨天の場合、楽器が濡れないようにするため(いずれも対応について相談可能です)					
	設置階の制限 *			会場が2階以上の場合は要相談					—
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m以上		高さ	2m以上		可
WSについて	参加可能人数		500名程度(体育館の場合はその広さに応じて)					可	
	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			可	
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			2,000名程度(体育館の場合はその広さに応じて)					可
	舞台設置場所 *			ステージ上。フロアの両方				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14m	奥行	8m以上	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			楽器ケース等が置けるスペース				可
		緞帳 *		不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *			基本的には不要	理由	基本的には遮光不要ですが、時期・時間により演奏位置に直射日光が差す場合は遮光出来ることが望ましい。			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)		ピアノの事前調律 *		要	演奏には使用しませんが設置状況によっては移動が必要			—
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量			家庭用電源(100V)が舞台近くで確保できれば問題ありません				—	
	その他特記事項							応相談	
寒い時期での開催の場合、会場と控室で暖房器具の使用が可能な事 (器具の持ち込みをよけていますが、可能であれば学校備品をお借りする事もあります。)							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	50m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

